

第3章 新交通ビジョンの基本方向

(平成9年度策定「長野県新交通ビジョン」より抜粋)

1 基本目標

本県は、松本空港のジェット化開港、北陸新幹線長野～東京間の開業、高速道路の整備など高速交通機関をはじめとした交通基盤整備が飛躍的に進展してきました。

これらの交通基盤整備が、県土のより均衡ある発展に結びつくためには、交通基盤相互の結節性のある総合的な交通ネットワークの形成が重要になってきます。

また、地域交流の拡大が図られるためには、交通施設が人や環境と調和したものであり、新たな交流空間となる必要があります。

このため、新交通ビジョンの基本目標は、

地域交流を支える多様な交通ネットワークの確立を目指して とし、

この基本目標を達成するための具体的な取り組みに向けて、

交通基盤整備の目標 と **交通環境整備の目標** を立てます。

① 交通基盤整備の目標

● 県内南北方向の強化と東西方向の拡大による交通ネットワークの拡充を目指します。

◆ 広域市町村圏の中心都市と周辺市町村をおおむね **30分** で結ぶ

……… 地域における連携を強化するため、日常生活における交通網の整備を推進し、中心都市と周辺市町村をおおむね「30分」で結びます。

◆ 高速交通機関をおおむね **30分** で利用できる

……… 整備の進展した高速交通網へのアクセス性向上により、高速道路のインターチェンジや新幹線の駅、松本空港などとおおむね「30分」で結びます。

● リニア中央新幹線など高速交通網の整備を推進します。

◆ 三大都市圏とリニア中央新幹線の県内駅をおおむね **30分** で結ぶ

……… 時速500kmで走行するリニア中央新幹線の県内駅と東京、名古屋、大阪をおおむね「30分」で結びます。

◆ 全国 **一日** 交通圏を拡大する

……… 高速交通網などにより、おおむね「3時間」以内で全国主要都市と結び、ゆとりある活動を可能とする「全国一日交通圏」を拡大します。

② 交通環境整備の目標

●日常生活における交通環境の整備充実を図ります。

◆誰もが利用しやすい **便利な** 交通体系をつくる

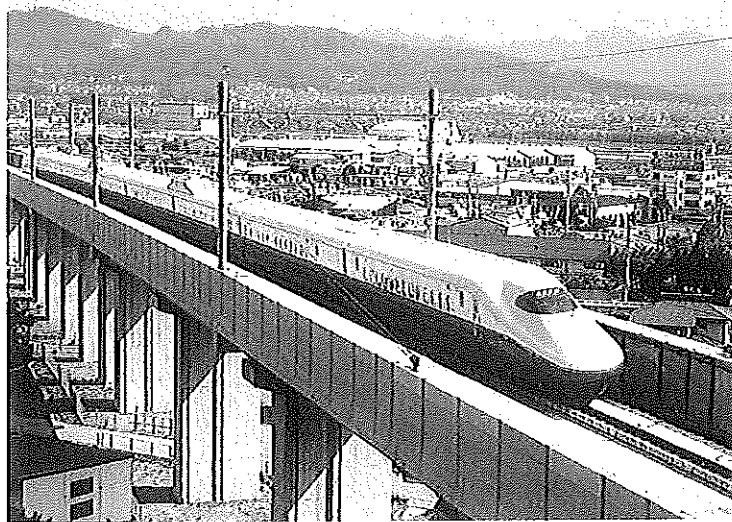
…… 高齢者や障害者をはじめ誰もが利用しやすい交通施設の整備を促進します。

◆環境と調和した **快適な** 交通体系をつくる

…… 自然環境を保全し、望ましい生活環境を創出する交通基盤整備や交通施策を推進します。

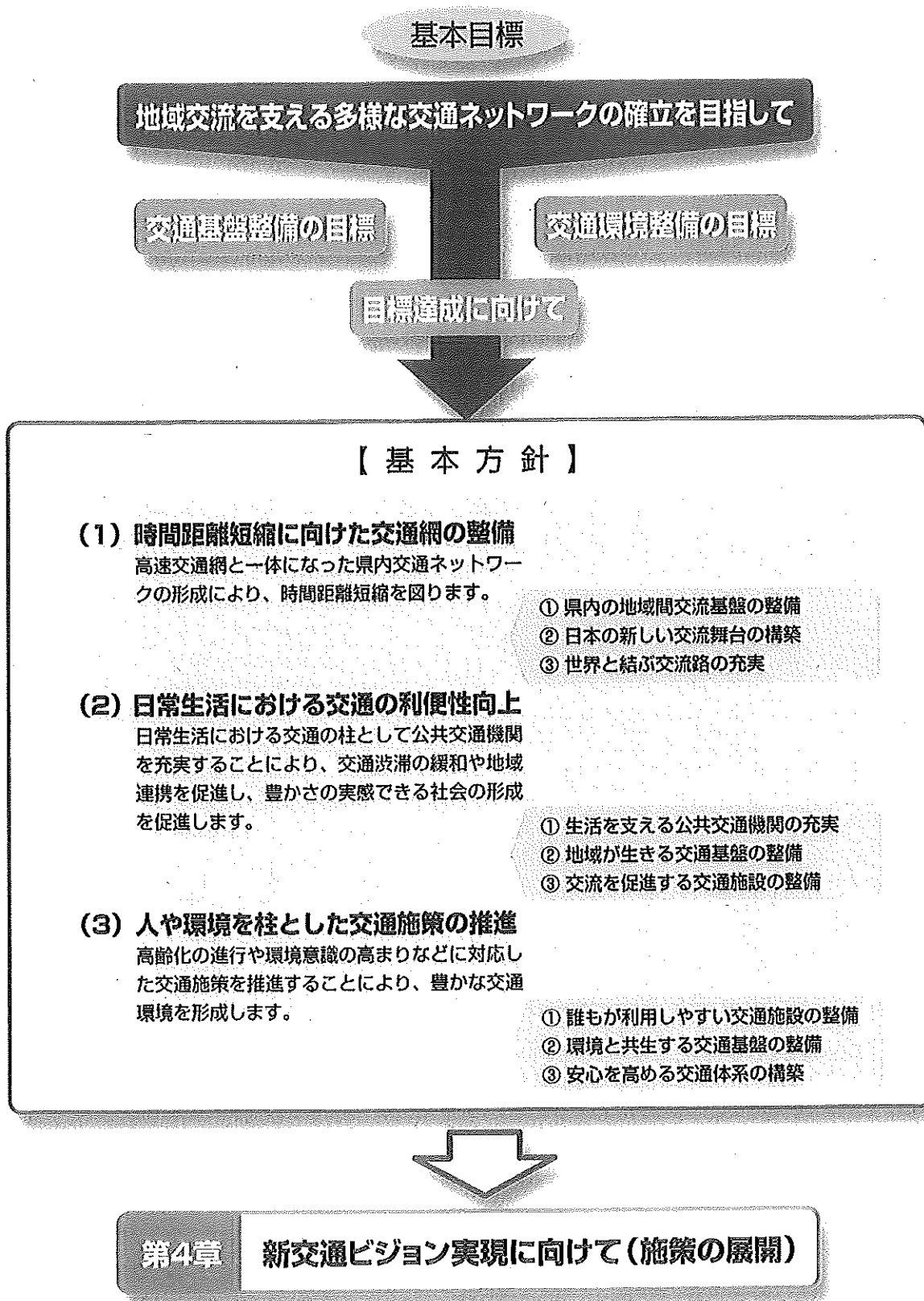
◆高度情報技術を活用した **円滑な** 交通体系をつくる

…… 新交通管理システム（UTMS）や交通需要マネジメント（TDM）などにより交通渋滞を緩和し、公共交通機関を柱とした円滑な交通体系の構築を図ります。



北陸新幹線 あさま

長野県新交通ビジョン体系図



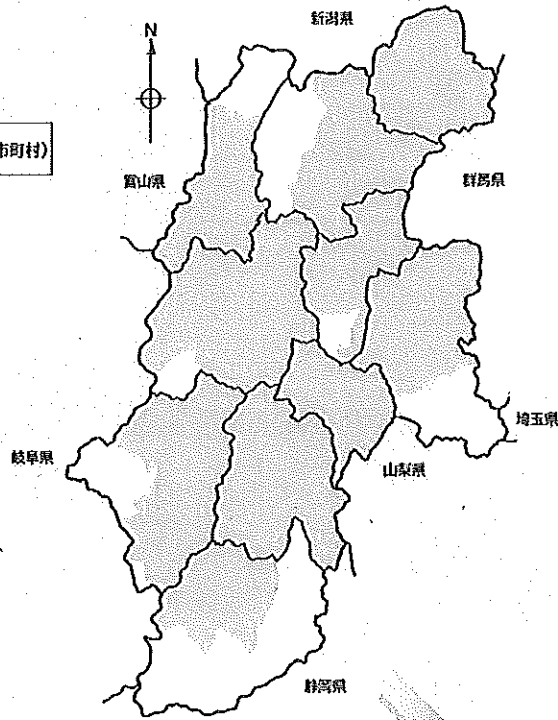
広域市町村圏の中心都市から周辺市町村までの所要時間

(市役所、町村役場間で算出)

目標 広域市町村圏の中心都市と周辺市町村をおおむね **30分** で結ぶ

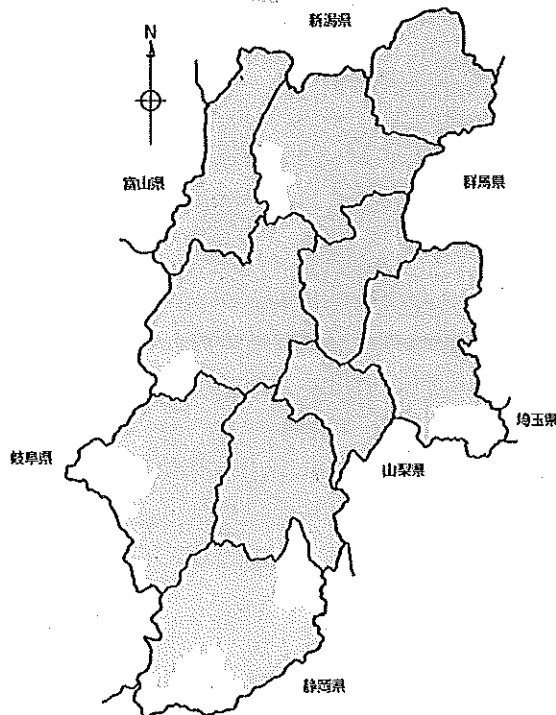
1997年
(平成9年)

おおむね30分(95市町村)



将来

おおむね30分(108市町村)



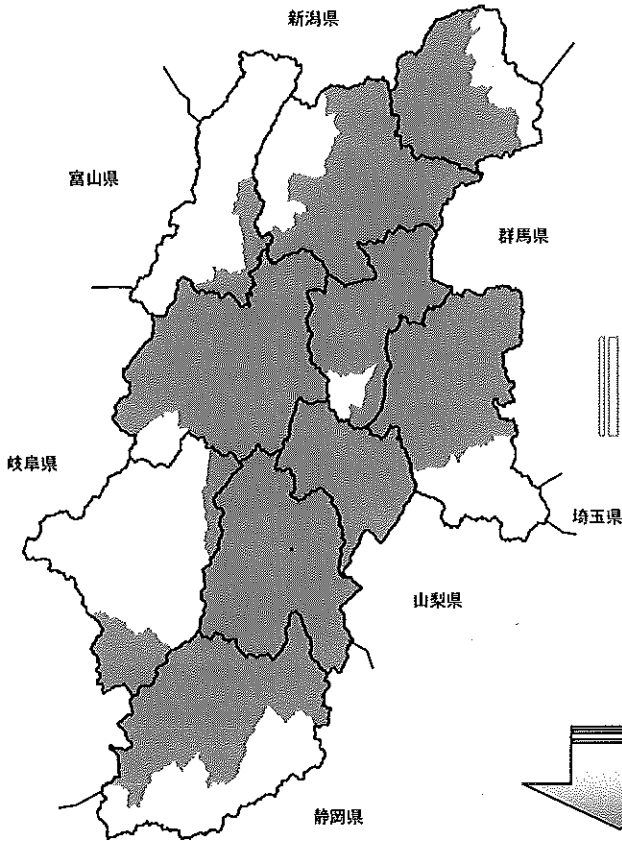
※現在の計画では目標達成が困難な市町村についても、今後、地域道路網等の整備を推進し、目標達成に努めていきます。

高速交通機関までの所要時間

1997年
(平成9年)

おおむね30分 (90市町村)

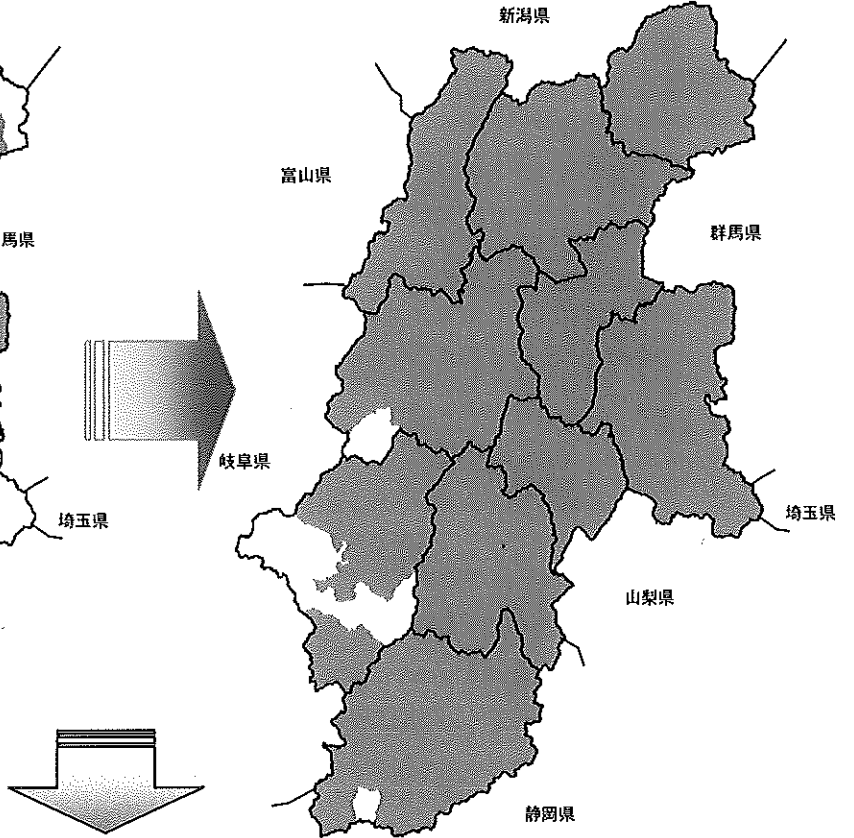
※市町村数は平成9年当時



将来目標

おおむね30分 (116市町村)

※市町村数は平成9年当時

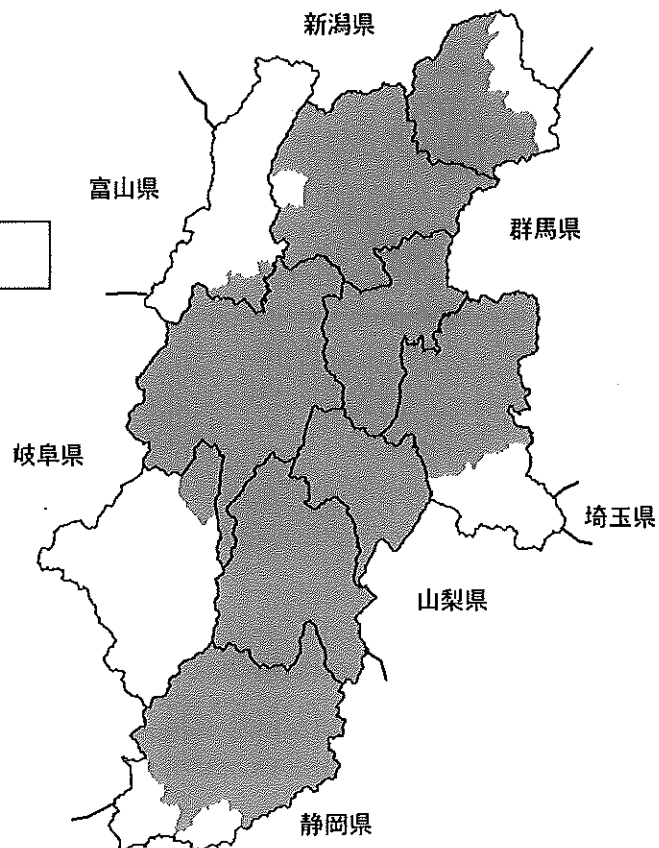


現状

2010年 (平成22年)

おおむね30分 (62市町村)

※市町村数は平成22年現在

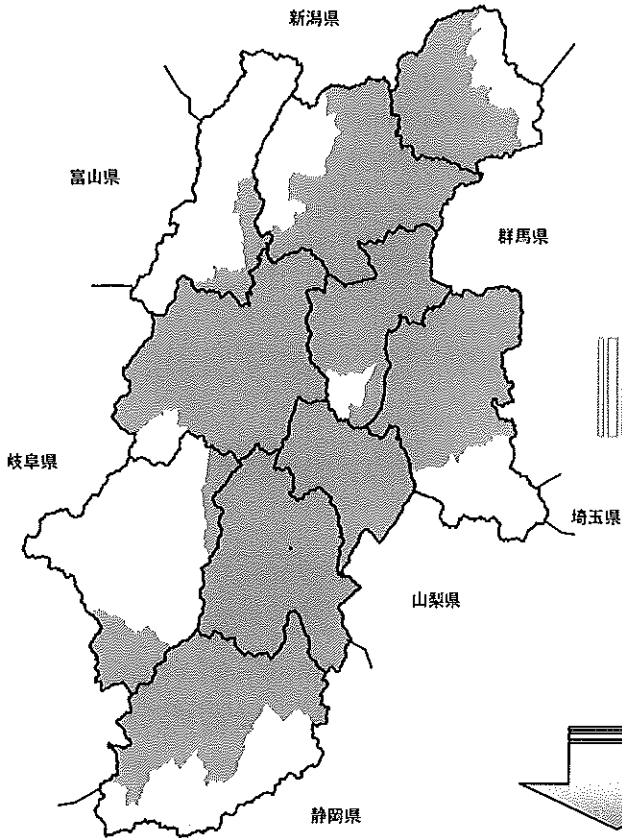


高速交通機関までの所要時間

1997年
(平成9年)

おおむね30分 (90市町村)

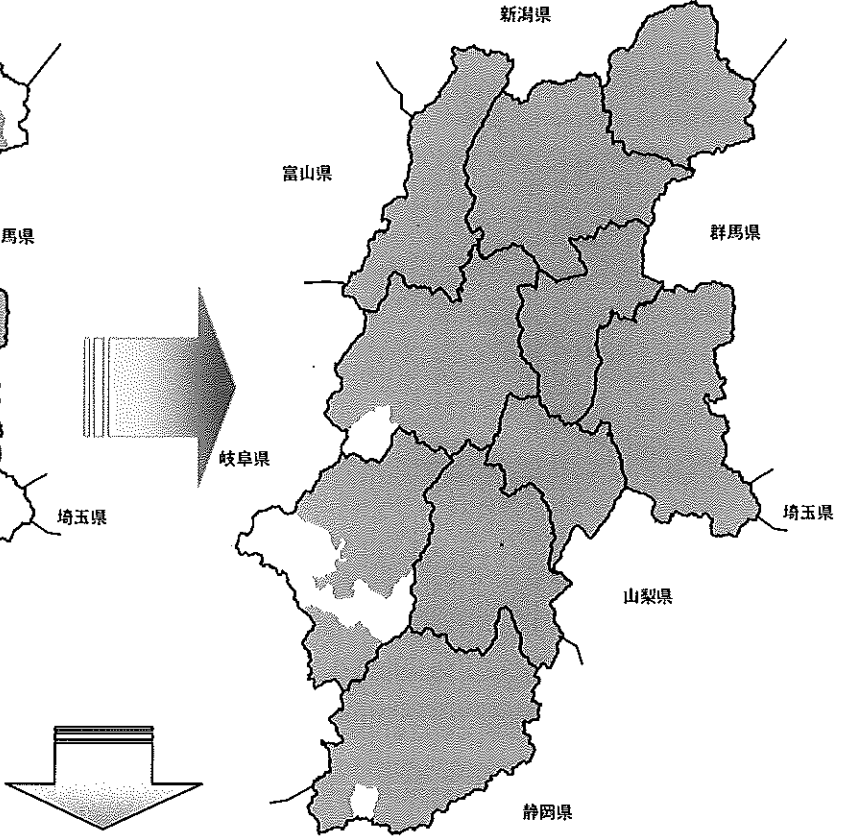
※市町村数は平成9年当時



将来目標

おおむね30分 (116市町村)

※市町村数は平成9年当時



現状

2010年 (平成22年)

おおむね30分 (62市町村)

※市町村数は平成22年現在

